

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援きたはまキッズわくわく		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 1日	～	令和7年 12月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 28	(回答者数)	27
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 1日	～	令和7年 12月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・職員全員で意見を出し合って活発に話し合いができる環境である。	・その日のうちに子どもへの対応がどうだったのか話し合い改善をしている。	・職員一人一人が更に研修などに参加し、スキルアップを図っていく。 ・非常勤の職員も皆で話し合いができる時間が更に増えるよう調整をする。
2	・子どもの活動しやすい環境が整っている。	・職員全員が交代で活動案を計画していることで、バリエーションに富んだ活動ができています。 ・小空間などを利用して落ち着ける環境づくりをしている。 ・試作や教材研究を繰り返し行っている。	・広い空間を区切りスペースを上手く活用できるようにスペースの使い方を工夫していく。 ・職員の専門性を高めていく。
3	・幼稚園との連携を密に行っている。 ・子どもの状況を日頃から保護者と伝えあうことができている。	・幼稚園の先生に毎月子どもの様子を記入してもらい、共有している。 ・幼稚園の夏休み期間に幼稚園の先生が見学にくることでわくわくでの活動の様子や支援のポイントを知ってもらえた。 ・行事の際は様子訪問をし定期的に担任と情報共有している。	・保護者同士が気軽に話をし意見交換できるお話し会などの開催を検討していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・あまり地域に開かれた取り組みをしていない。	・開業1年目ということもあり、受け入れ態勢が整っていなかった。	・中学生や高校生の職業体験などの受け入れを積極的にしていきたい。 ・事業所の様子を更に発信していくようにする。
2	・日常業務と環境準備、設定を並行して同時に行っている。	・より良い環境にするために試行錯誤しながら考え、取り組んでいる段階である。	・今年度行ってきた反省を生かして来年度の基盤を作っていくようにする。
3	・職員一人一人のスキルアップの向上を目指す。	・様々な特性を持った子が利用している。	・多様な子に対応できるように支援していくようにする。